

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		児童生徒各種大会出場助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計 画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島正剛	
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 西高文江	
	基本事業	63	体育の推進		所属班	学務指導班	(内線) 2237	
					法令根拠	合志市各種大会等出場補助金交付要綱		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	
		1	10	1	3	10669		
							成果優先度評価結果	12
							コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 児童生徒がスポーツ大会や文化活動を通して、心身ともに健やかな成長が図られるよう、小中学校の児童生徒で組織する団体又は個人が、県大会以上の大会等へ出場する場合に、大会等への出場に要する経費を助成する。九州 5000円 沖縄 10000円 九州・沖縄を除く国内 10000円 小中学校の部活として出場する場合 参加経費全額								
【業務の流れ】 申請受付、補助金交付決定、請求支払い事務、大会参加確認(実績報告)、補助金精算事務								
【主な予算費目】補助金								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 小中学校の児童生徒で組織する団体又は個人が、県大会以上の大会等へ出場する場合に、大会等への出場に要する経費を助成した。 申請件数 57件 補助金総額 2071千円	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 県大会以上の各種大会等へ出場する児童生徒の保護者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 県大会以上の大会に参加する児童生徒数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 県大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 小中学校の児童生徒 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 健康な身体になる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 補助を受けた児童生徒の率 % → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 体力テスト結果で、A~Cランクと判定される児童生徒の割合 点 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト 目 標 合 計 値 画 22 年 度
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	2,430	2,071	2,430	2,430	
		一般財源	千円	3,938	4,983	0	0	0	0	
	(A) 事業費計	千円	3,938	4,983	2,430	2,071	2,430	2,430	2,430	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	310	310	310	310	310	310		
	(B)人件費計	千円	1,231	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,169	6,217	3,664	3,305	3,664	3,664	3,664	
活動指標	人	290	290	260	140	260	260	260		
対象指標	人	5075	5101	5162	5262	5262	5270	5300		
成果指標	%	5.97	5.01	2.7	2.66	3.8	3.75	3.74		
上位成果指標	点	70	63.5	73	70.7	75	75	75		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
小中学生の全国大会等への参加者より、参加経費の一部補助の要望が高まり、小中学生のスポーツ活動、文化活動奨励の意味からも補助金を出すようになった。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
以前と比べて種々の大会が開催されており、本市からも県予選を通過しての参加者も増加している。特に、サッカー、陸上、水泳、ミニバスケット、野球、剣道他の九州大会や全国大会に出場している。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保護者からはお礼の言葉が寄せられている。

事務事業名	児童生徒各種大会出場助成事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 大会参加において、参加経費の一部を補助することにより保護者の経済的負担の軽減になり、出場する児童生徒も安心して出場できるようになり、教育現場におけるスポーツや文化活動の奨励につながることで整合性はある。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 義務教育の一環として、児童生徒のスポーツ活動、文化活動を奨励することにつながるため市がこの事業を実施するのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を小中学生としており、義務教育の一環であるので対象、意図は妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現在、部活動で出場する場合定額であるが、全国大会での遠方への参加は多額の出費であり、成果を向上させるには、補助金額の引き上げることだか、市の財政状況を考慮すると現状維持又は補助金の縮小の方向にならざるを得ないので成果向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 毎年、かなりの人数が九州大会や全国大会に出場しており、小中学生のスポーツ、文化活動の奨励の意味からもその影響は大である。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 上記の施行規則の中に、合志市各種大会等出場補助金交付要綱の対象になるものは除くとあり、規則の変更がない限り統廃合・連携はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 予算額が限られており、出場者の増加により、定額の補助金額の引き下げは検討する必要がある。また、各大会における補助する回数も規定する必要がある。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 業務時間は必要最低限である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 義務教育の一環として対象者は小中学生であり、保護者の経済的負担の解消及び出場奨励の意味合いもあり受益者負担は適当でない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性については、予算額が限られており、出場者の増加により、定額の補助金額の引き下げは検討する必要がある。また、各大会における補助する回数も規定する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 予算的に限られており、大会出場者が増加すればある程度の補助金額の引き下げもやむ終えないし、補助回数の制限も必要と考えられる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
補助金引き下げ及び補助回数制限についての、保護者が納得するように説明すること。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)